

令和3年度 第9回 昭島市社会教育委員会会議・要点録

開催日時／会 場 令和3年12月23日（木）午後7時00分～9時00分 602会議室+Web会議
出席者 谷部議長、松本副議長、稲垣委員、小原委員、齋藤委員、指田委員、
二ノ宮リム委員、信國委員、吉村委員
欠席者 吉川委員
事務局 川崎社会教育係長、来住野社会教育主事

1 開 会

＜配付資料＞

- 資料1 令和3年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第二ブロック研修会日程
資料2-1 令和3年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員
研修会実施概要
資料2-2 第11期東京都生涯学習審議会 概要
資料3 令和4年度社会教育関係団体等補助金 事務局案
資料4 社会教育関係委員研修会（案）
資料5 視察研修（案）
資料6 令和3年度社会教育委員活動記録作成に係る原稿の提出について

- ・昭島市月間行事予定表1月
- ・とうきょうの地域教育 Vol.144
- ・あきしまの教育 第106号
- ・あきしま公民館だより No.207
- ・社教連会報 No.89

2 報 告

- （1） 東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2ブロック研修会について（12/4 於：武蔵村山市）（資料1）

議 長 参加された方から報告をお願いしたい。

委 員 どちらの話も大変良かった。昭島市の榊祭りは伝統をいかに守るかということの大変さ、ご苦労、山車を出すにあたっても、「伝統を守りながら子供たちに昔のままの姿で伝えていく」という姿に感銘を受けた。村山大島紬のお話も、ややもすればなくなってしまふのではと感じる着物の文化だが、講師のお話が大変面白く、自分も着てみたいと思えた。

委 員 榊祭りについて改めて興味を持つことができた。交通問題や住民との騒音問題など様々な課題にどう取り組んでこられたか、また、「わざわざ人の手を借りてやること」の意義など、つないでいく為の貴重なお話であったかと思う。大島紬のお話では、職人の心意気も感じることができた。着物の文化も「お洒落」であることを再認識した。

委 員 自分もお囃子をやっていた経験から思い出すことも多かった。お祭りの日の取り決め

の話など、聞いてはいたがその経緯を聞くことができたのは貴重だった。村山大島紬の方はたまたまお知り合いだったこともあり、昔聴いた祖母の話なども思い出し、いい時間だった。

委員 研修会に参加してよかったというのが最初の感想。それぞれの方の伝えたいという想いが伝わり、伝統をつなげるというの、単に同じことを繰り返していくのではなく、場合によっては闘ってでも今までの形式を頑張って続けるというお話と、村山大島紬の方のように、少しずつ変えながら守ってきたというお話から、続けるということはどういうことなのだと感じた。

委員 榊祭りのお話の中で、のぼり旗を今でも人力であげるというお話、また昭和記念公園内「こもれびの里」ののぼり旗をあげる指導をされたというお話から、地域に貢献されていることをすばらしいと思い、昭島の誇れるものだと感じた。ただ、自分自身は榊祭りそのものを見たことがない。あそこまでのご苦勞があったとは知らなかったので、市全域に知れ渡ってほしいと思う。村山大島紬も、東京の伝統工芸品 41 品目の 1 つで、これは多摩地域の自慢ではないかと思った。講師が大変お話が上手で、素晴らしかった。

委員 榊祭りについては、実際に見た経験がなかったので、昭島にすごいお祭りがあるのだと知った。伝統を守っていくためにさまざまな工夫をしてきたというお話は、他の活動にも通じるところがあると思う。村山大島紬のお話で印象に残っているのは、「伝統文化を残していくのは大事だから頑張ってください」、という言葉ではなく、伝統工芸品を購入して使っていただきたいという話だ。たしかに私たちが工芸品を使っていくことが伝統をつなげていく、という意味で大事だと思った。

議長 第 2 ブロック研修会については、後日行われた交流大会で質問があった。伝統を守り継承するための 4 つのポイントとしてあげられたものの中に、「節目を活かす」とは何か、ということだったが、改めて講師の方にも確認したところ、「大きなイベントなどのことを節目として、そういう機会を活かす」という意味だと聞いたので補足したい。

(2) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会について

(12/11 於：府中市) (資料 2-1、2-2)

議長 こちらについても参加した方から報告をお願いしたい。

委員 会場の府中市市民活動センタープラッツ バルトホールがとても居心地よく、使いやすそうだった。

委員 第 2 部では武蔵国府太鼓のみなさんの演奏を予定されていたが、上が居住区域ということで生の演奏を聴くことができなかった。武蔵国府太鼓は中学生からシニアの方まで様々な世代の方で構成されており、社会教育らしさを感じた。大國魂神社には神社用の太鼓はあるが、武蔵国府太鼓は府中市を盛り上げるのに貢献していること、和太鼓の素晴らしさを感じた。

議長 先ほど申し上げたが、今回都市社連協の副会長ということで第 4 ブロック・第 5 ブロック研修会にも参加する機会に恵まれた。これまで第 2 ブロック研修会しか参加したことがなかったので、他ブロックのものに参加して、地域ごとで違いがあることを感じた。第 4、第 5 ブロックの報告内容は参加していたこともあり理解できたが、参加できな

ったブロックの状況を報告から感じ取るのは難しいと思った。参加した第4ブロック、第5ブロックの研修会は実際大変有意義だった。太鼓は生演奏を聴いてみたかった。榊祭りの先導に太鼓があるのだが、太鼓の音を近くで聴くとお腹が振動するほどの迫力がある。アキシマエンスでも榊祭りの動画が放映されていることもあるので、ぜひご覧いただきたい。

3 議 題

(1) 令和4年度社会教育関係団体補助金事務局案について（資料3）

議 長 社会教育関係団体の補助金は、昭島市社会教育関係団体補助金交付要綱に基づき、「社会教育委員会議の意見を聞いて、補助金交付の内定を行い、補助金額等を内示するものとする。」となっていることから、事務局案についてご意見があればお願いしたい。

※事務局より資料説明

議 長 ご意見なければ、承認ということでよいか

※異議なし

4 協 議

(1) 社会教育関係委員研修会について（資料4）

内容についてのアイディアについて（まとめ）

- ・各委員の皆さんはそれぞれの地域でご活躍なので、委員の方から報告してほしい
- ・初めての方が多いので、団体ごとにあらかじめ報告テーマを決めておくのがよい
- ・各団体の中で困っていることなどをグループごとに出してもらってはどうか
- ・コロナ禍での活動について、お互いに知るということも大事だ
- ・委員の中にいる、市民活動に関わっていらっしゃる方の話でもよい
- ・グランドルールの説明に加えて、タイマー（工夫して）を利用することも検討
- ・全部の話を全ての人が聞けるわけではないので、それぞれの活動を学び取ってもらえるような資料があるとよい

※細かい役割分担案を決定（司会、グランドルール説明など）

※新型コロナウイルス感染症の感染状況でオンラインについては難しいところもあるかもしれないので、要検討。

(2) 視察研修について（資料5）

委 員 企業の地域活動についても聞いてみたい。おだわら市民学校について学ぶにあたり、昭島市の市民大学について情報があるとよい。

事務局 何か資料を用意したい。当日は借り上げバスを利用するので市役所集合でお願いしたい。保険等は実費でお願いしたい。

(3) 令和3年度社会教育委員活動記録作成にかかる原稿について（資料6）

議 長 令和4年度は昭島市が幹事市になるので、できればそこで掲載したいと考える。活動の実践事例ということなので、あきしま会議のことなどになるかと思うが、おそらく、

1 月いっぱいまでは新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況について先が見えない状況にあるので、あきしま会議の今後の開催についてはそのあとでどのように開催するか決めたいので、今年度は掲載しない方向でどうか。

※異議なし

(4) その他

※来年度の都市社連協役員「会計」を決定

次回

1 月 27 日（木）午後 7 時より 602 会議室+Web 会議

2 月 24 日（木）午後 7 時より 602 会議室+Web 会議